

社協だより 萩

2025
12 / 1
Vol. 109



recycle & support station



やりがいをもって社会とつながる

2025年6月にオープンした資源回収施設、リサイクル & サポートステーション「リサステ」。この名前は、萩総合支援学校の生徒さんが考案しました。「リサステ」は、ゴミが再び生きる「始発駅」として、電車をイメージした内装になっています。

ここに持ち込まれた“いらない”は、そこで終わりません。高校生の学びの材料となり、障がいのある方はたらく機会となり、地域の高齢者との交流のきっかけにもなります。

“いらない”が、つながりと役割を生み出す。その仕掛けがここにはあります。



電気ポットを分解している様子



知ることから はじめよう

障害者週間

毎年12月3日から9日は「障害者週間」です。この期間を中心に、障がいや障がいのある人に対する関心と理解を深めるとともに障がいのある人が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するための啓発行事が全国で行われます。

盲導犬や視覚障がいについて、少しでも多くの人に知っていただきたいという思いから、盲導犬「モア」と一緒に学校などへ講話に行かれている河内喜久男さんに盲導犬との暮らしや日常生活、地域に対する思いについてお話を聞きました。

●私のこと

私は28歳の時に*パーチェット病になりました。病気が進行し、32歳の時に失明しました。その後、当時の盲学校に入学し、そこでは鍼灸師の勉強をしました。点字の勉強もしましたが習得するまで一苦勞でした。その頃はまだ子どもが小さく生活のために必死でした。しかし、見えなくて悲しいと思ったことはありません。陽だまりや風の心地よさを身体全体に感じることができます。



●生活の工夫

日常生活では様々な工夫をしています。整理整頓をこころがけ、物は必ず定位置に置いています。洋服はブランド名と色や形などを点字でタグに書き、ポケットに入れてあります。そのタグを読んでコーディネートを決めます。しかし、そのタグはクリーニングに出すときは取らないといけないうので紛失することや、分からなくなることもあるので注意しておかないといけません。



私の家では汽車の走る音が聞こえます。その音で時間を把握することもできますが、最近は便利な家電やAIも活用しています。月1回「萩市視覚障害者向けスマホ講習会」に参加してスマホの使い方を学んでいます。視覚障がい者向けの便利なアプリがいくつもあり、カメラをかざすと活字や信号の色を読み上げたり、紙幣の金額を教えてください。また、視覚障がいのある方と健常者のボランティアをビデオ通話でつなぎ、日常の困りごとを解決するアプリもあるので、とても便利で今ではなくてはならないアイテムになりました。

●盲導犬との生活について

盲導犬との最初の出会いは36歳の時です。盲導犬ユーザーとして県内で4人目でした。「ヤンシー」は、とても元気で少しヤンチャな盲導犬でした。当時は見島に住んでいたもので、島の皆さんに見守られ過ごしていました。萩に出て約1年が経過しました。今の相棒の「モア」は2歳の時から一緒に訓練をして迎えました。モアがいることで地域の方が声をかけてくれるようになり、モアのおかげで地域のコミュニティができたと思っています。モアとの生活はぬくもりを肌で感じ、ふれあいが生まれ、温かい気持ちになれます。



盲導犬と一緒にいると盲導犬がなんでも把握していると思われることもありますが、私が目的地までの地図をイメージし、盲導犬に指示を出して歩いています。また、盲導犬は色の識別はできません。横断歩道を渡る時は、私が車のエンジン音や周囲の音を聞き分けていますが、最近はアイドリングストップでエンジン音が聞こえない車も増えたので慎重に渡っています。しかし、何度も危ない経験をしたこともあります。そんなときに「どうされましたか?」と声をかけていただくと、たまらなく嬉しくなります。地域のみなさんのちょっとした声かけが私を救ってくれます。

また、向かいの道路からモアを見かけて手を振ってくれる方もおられるようです。盲導犬を知っていただくことは嬉しいですが、そちらに気を取られてしまい集中ができないので盲導犬の仕事中には話しかけたり、目を合わせたりすることは控えていただきたいと思っています。

便利なAIを活用していますが、モアや人の温かさはAIでは感じられません。お互いに助けあい手を取りあえる、そんな温かい地域になることを願っています。



散歩の様子
(二次元コードから動画を視聴できます)

*身体の中の免疫バランスの異常によっておこる全身性の炎症性疾患。

善意銀行 ありがとうございます

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。※令和7年9月1日～令和7年10月31日受付分（敬称略）

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
萩			
松浦 薫	大井浦下	母/歌子	金一封
岩崎 春男	萩市大字椿	妻/トキ子	金一封
田中 正己	土原2区の3	母/京子	金一封
清水 秀男	玉江浦1区の3	母/アサコ	金一封
阿武ミツ子	河添の1	夫/賢治	金一封
山本 博道	土原3区	兄/康勝	100,000円
中村 勝浩	三見浦	母/千里	金一封
横田 菊江	平安古	夫/正光	金一封
田中 武夫	見島5区	母/笑子	金一封
匿名			30,000円
河村 文江	三見飯井	夫/正男	金一封
田万川			
富岡 哲治	稗田	父/義雄	金一封
林 幸生	小川3区	父/直美	金一封

氏名	住所	備考	金額
吉崎 泰子	下郷	長男/慎朗	金一封
氏川 頼子	小川22区	姉/延子	金一封
須佐			
山本 浩之	堀田	父/徹	金一封
むつみ			
金田 和能	大光寺	妻/富子	金一封
宮野 洋子	鈴倉	母/綾子	金一封
福栄			
齋藤 末子	平蔵	夫/正次	金一封
岡 裕太	畑	父/裕重	金一封
旭			
植村 和子	明木蔵屋	夫/暁雄	金一封
清水 睦美	明木蔵屋	父/山根晴夫	金一封
長井雄一郎	久年	父/貞美	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
榊ヤクルト山陽萩センター		社会福祉へ	17,100円
ささえあみずぐるま 江向4区		社会福祉へ	1,315円
匿名		社会福祉へ	5,363円

氏名	住所	備考	金額
田万川			
田万川地域ゴルフ大会実行委員会		社会福祉へ	8,730円

(香典返し・一般寄付合計 25件 920,508円)

※善意銀行は地域福祉活動推進の貴重な財源になっています。どうかご協力ください。

物品寄付

未使用ハガキ、未使用切手、オムツ、車イス 他

お知らせ

はぎファミサポからのご案内

教育現場で多くの子どもたちや保護者の方々に寄り添ってきたお二人を講師に迎え、ラフターヨガと今の自分を肯定するほめ体験講座を体験しませんか。一緒に思いっきり笑って、しっかりほめて、心も体もスッキリさせましょう!（※託児要予約）

日時	令和7年12月16日(火) 10:00~11:30 (受付9:30)
場所	萩市総合福祉センター 交流室(1)(2)
内容	心と体の元気がアップするラフターヨガと今の自分を肯定するエネルギーがアップするほめ体験講座
講師	ラフターヨガインストラクター 宇佐川伸恵先生・中村友美先生
対象	萩市、阿武町在住の方どなたでも
参加費	無料
その他	動きやすい服装
申込み	はぎファミリー・サポート・センター ☎0838-24-0530

第8回萩市障害者スポーツ協会 チャリティゴルフコンペにおける募金のお礼

令和7年11月5日(水)、全国障害者スポーツ大会に萩から出場する選手や、萩市で開催される障がい者のスポーツ大会を支援することを目的に、長門ブルーラインカントリー倶楽部でチャリティゴルフコンペを行いました。38名の方が参加され、多くのチャリティー募金をいただきました。紙面を

借りてお礼申し上げます。

募金総額 81,788円

次回は、令和8年11月4日(水)に開催予定です。

令和7年度 災害ボランティア講座

近年では、地震や大雨等の自然災害が頻発化し、重大な影響を及ぼす災害が増えてきています。その災害からの復旧には「災害ボランティア」による活動は欠かすことはできません。

災害が発生した際に、災害ボランティアセンター運営者や災害ボランティアとして活動ができるよう、水害被害を中心に災害に関する基礎的な知識や災害ボランティアの役割や活動について学ぶ養成講座を開催します。

日時	令和8年1月25日(日) 10:00~15:00
場所	萩市総合福祉センター1階 多目的ホール
内容	講義 「水害があったときの対応について」 実習 「水害被害家屋の処置について」 講師 一般社団法人 九州防災パートナーズ 藤澤健児氏

対象 萩市在住・在勤の災害ボランティア活動経験者及び災害ボランティア活動を検討されている方、災害ボランティア登録をされている方

参加費 無料
申込み 萩市ボランティアセンター
☎0838-22-2289

または二次元コードからお申込みください(1/9 締切り)



リサステ

～暮らしの“手間”を減らしながら、

地域の“参加”と“循環”を生み出す場所に～

東萩駅からほど近い場所に出来たこの施設は、有限会社萩新栄とNPO法人mi&goが共同で運営しています。「粗大ゴミの処分が大変」「分別が難しい」といった地域の声をきっかけに生まれた、有料会員制のドライブスルー型ゴミステーションです。会員の方は車に乗ったまま不要品を持ち込むことができ、ご自宅への粗大ゴミ回収サービスや、高齢者宅への定期回収にも対応しています。

ただ、ここは“便利なゴミステーション”で終わる場所ではありません。

持ち込まれた家電や家具、雑貨は、スタッフと障がいのある仲間たちが丁寧に分別・解体し、再利用・再資源化できるものは次の場所へと送り出されます。また、壊れたテレビや冷蔵庫は、萩光塩学院の高校生たちとともに「未来の家電とは何か」を考える“生きた教材”として、もう一度、役割を持ちます。

つまり、ここに持ち込まれる“いらない”は、誰かの仕事のチャンスに、誰かの学びのきっかけに、誰かの居場所としての役割につながっていきます。地域の「困った」を解消しながら、同時に「働く」「学ぶ」「つながる」の循環をつくり出す場。それがリサステです。

ここは、ゴミを「終わり」ではなく、「はじまり」に変える始発駅です。



赤い羽根食堂

ご協力ありがとうございました！

10月1日から全国一斉に始まった赤い羽根共同募金活動。萩市社協ではイベント型の募金活動として、10月毎週木曜日に赤い羽根食堂をオープンしたところ752名の方がランチ交流を楽しまれました。

「赤い羽根クリスマス食堂」を開催します！

限定開催！赤い羽根クリスマス食堂をオープンします。売上げは共同募金の寄付金となります。どなたでも食べていただけますので、たくさんの方のお越しをお待ちしております！

日時 令和7年12月24日(水)
11:00～13:00

場所 萩市総合福祉センター2階交流カフェ

メニュー ハヤシライス
冬野菜スープ

金額 1食500円

食数 150食 *なくなり次第終了

皆さまの温かい気持ちがたくさん
つまった募金活動ができたニャン♪



募金総額 **386,609円**



～食材の提供・協賛いただいたみなさま～

(株)コープ葬祭、協和建設工業(株)、田中建設(株)、(株)サンパルコ、(有)マシヤマ印刷、萩市田町商店街振興組合連合会、明治安田生命、JA山口県萩統括本部、山口県農業協同組合ふれあいらんど萩、(有)萩ミート販売、(有)江向イセキ、山根設備、瑞穂糧穀(株)萩支店、大井ふれあい市、業務スーパー萩店、アトラス萩店、生活協同組合コープやまぐち、ザ・ビッグエクストラ萩店、サンリブ萩店、(株)井上商店、(有)忠小兵衛蒲鉾本店、萩更生保護女性会、阿武幸枝、坂倉政之、中井亜紀子、長岡和子、平田俊一郎、青木賢次、吉光傳、森田ヤエ子、山本義継、匿名(順不同・敬称略)